

10月は電話d e詐欺被害防止強化月間です！

県警では、被害が多い電話d e詐欺を撲滅するため、10月を「電話d e詐欺被害防止強化月間」に設定し、官民一体となって、集中的に広報啓発活動及び被害防止対策を実施しています。

最近の電話d e詐欺は携帯電話にも多く着信し、幅広い世代で被害が発生していますので、携帯電話の防犯対策として、詐欺電話に使われることが多い国際電話番号や詐欺に利用された電話番号をブロックする機能を備えた警察庁推奨の「特殊詐欺対策アプリ」（無料）をダウンロードしましょう。

家族をはじめ周囲の人にも紹介して、みんなで詐欺被害を防止しましょう。

ダウンロードはこちら→

警察庁・SOS47
特殊詐欺対策ページ



侵入窃盗に注意！！



千葉県内では令和8年3月末現在、侵入窃盗が903件発生しており、その内の約4割が空き家の被害です。9月はシルバーウィークがあり、特に注意が必要です。

被害に遭わないために、

- 脚立や箱など、2階へ足場となるものを置かない。
 - 庭木をせん定し、外からの見通しをよくする。
 - ゴミ出しや買い物など短時間の外出でも必ず鍵をかける。
 - 就寝時、在宅時にも戸締まりを徹底する。
 - 不審な電話や来訪者に在宅状況や家族の状況、資産状況を聞かれても答えない。
- などの対策をしましょう。

空き家も、施錠を徹底しセンサーライトや防犯カメラを設置したり、窓に防犯フィルムを貼って割れにくくするなどの対策をしましょう。また、貴重品を置かないことや、屋外に物を放置しないということも大切です。

勝山の和

令和8年

9月号

館山警察署

0470-23-0110

勝山交番

0470-55-0043

勝山交番

8月

事件・事故発生

状況

○ 事件

・盗難 0件

○ 事故

・物件事故 13件





偽者の警察官に注意！



- 警察は、SNS で連絡することはありません。
- 警察は、警察手帳や逮捕状などの画像を送ることはありません。
- 警察は、捜査等の名目で金を要求しません。
- もしも警察を名乗る者から電話が掛かってきたら警察署名、担当課、氏名、電話番号を確認し館山署又は駐在所に連絡して下さい。



広報

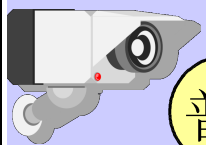
保田たより

9月号

館山警察署
保田駐在所
55-1043
作成者豊蔵



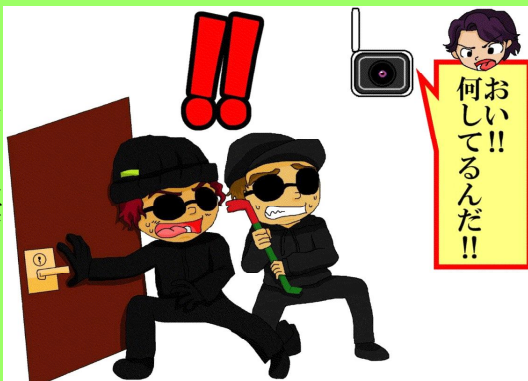
おみなえし



普段から泥棒に入られない対策を



- 長時間外出するときは、新聞配達などを停止するなどして不在を察知されないようにしましょう。
- 就寝時も戸締まりを励行し、短時間の外出でも鍵を掛けましょう。
- 玄関や窓の鍵をツーロックにしたり、防犯カメラやセンサーライトを設置しましょう。
- 敷地内の整理整頓に努め、庭木は剪定して見通しを良くし、足場となるような物はかたづけましょう。



9月11日は「警察相談の日」



警察相談
ダイヤル

110番に迷った時は...
「#9110」

警察相談専用電話「#9110」にあわせて、9月11日を警察相談の日と定めています。事件・事故等の緊急通報は110番へ、相談については、相談専用電話（#9110）又は館山警察署へ、お電話ください。

館山警察署

TEL 0470-23-0110

千葉県警察本部相談サポートコーナー

TEL 043-227-9110

（短縮ダイヤル#9110（全国共通））

受付時間 月～金（祝日を除く）



災害はいつ来るか分かりません。



- 非常持ち出し袋には貴重品、衣類、非常用食料、持病の薬、懐中電灯、ラジオ、ちり紙、飲料水などを準備しよう。
- 雨や風が強くなる前に自宅周辺の補強対策をとり嵐の中、無理な外出はやめよう。
- 嵐が酷くなる前に早めに避難し、家を離れる際は家の戸締まりと火の元の確認をしよう。
- 割れたガラスを踏まないためにも枕元にはヘルメットとスリッパ等を用意しよう。



祭礼に参加する皆さんへ。



- 飲酒運転は禁止です。これから運転する人にお酒をすすめてはいけません。未成年者の飲酒も禁止です。
- 泥酔者は、区で責任を持って帰宅させて下さい。
- 夜遅くまで騒ぐのはやめましょう。
- 使用した場所はきれいにしましょう。
- 未成年者は早めに帰宅させましょう。



秋の全国交通安全運動のお知らせ



- 期間：9月21日（月）から9月30日（水）まで
交通事故死ゼロを目指す日 9月30日（水）
- 〈歩行者の皆さんへ〉
夕暮れからは反射材の活用をしましょう。
〈自転車、特定小型原動機自転車の皆さんへ〉
交通ルールを理解し遵守して、夕暮れ時は早めのライト点灯とヘルメットをかぶりましょう。



編集後記

友人の話、彼は、長年勤めていた会社を退職し、今度は在宅勤務のある会社に再就職したそうである。再就職する際、彼は、心配そうにしている自分の妻に「これから社畜から家畜になるよ。」と笑いながら言ったそうです。さすが出来る男は違うと思う駐在です。

